



☆風しんを予防しましょう☆

平成30年7月下旬から、関東地方を中心に風しんの患者数が大幅に増えており、厚生労働省から注意喚起がされました。十分な抗体を得るために2回の予防接種（MRワクチン）を受けることになっています。抗体が十分でないお子さんは感染してしまう可能性がありますので接種期間にあるお子さんはもちろん、保護者の方も合わせて予防接種をご検討ください。



◆風しんとは

風しんとは、治療法のない病気です。予防接種を受けることで防ぐことができます。

症状 発熱、発疹、リンパの腫れを特徴とするウィルス性感染症で三日はしかとも呼ばれています。

潜伏期間 2～3週間で、発疹が出現する1週間前から、発疹が出現後1週間後までウィルスが排出され、感染してしまう可能性があります。

感染経路；飛沫感染で、感染力が非常に強く、インフルエンザの2～4倍の感染力があるといわれています。

合併症 脳炎などの合併症を発生することがあります。

◆MR ワクチン（麻しん・風しん混合）の接種対象年齢にあっているお子さんは予防接種を忘れずに受けましょう。

1期；1歳のお誕生日から2歳のお誕生日の前日にあるお子さん（めばえぐみ、ふたばぐみ）

2期；平成31年度に小学校に入学するお子さん（さくらぐみ）

◆風しんにかからないために

- ・風しんの予防には予防接種が有効です。
- ・予防接種が必要かどうかわからない場合には抗体検査を受けましょう。



◆風しんかな？とおもったら

一般的な風邪との判別が難しいですが、風しんかな？と思われる症状が見られたら必ず医療機関に連絡し、指示に従って受診しましょう。また、マスクなど周囲への感染を防ぐための配慮をしましょう。